

「大阪・北新地ビル放火事件」「埼玉立てこもり銃撃事件」
で被害にあわれた医療従事者、利用されておられた方々への
追悼ならびに当団体の対応について（第一報）

2021年12月の大阪での事件、2022年1月の埼玉での事件の被害に遭われた医療チームの皆様、志を同じくする団体として、心よりお悔やみを申し上げます。また、治療中の皆様におかれましては1日も早い回復を願っております。

メンタルヘルス領域で訪問支援を行う私たちにも、本件は強い衝撃と哀しみをもたらしました。当団体では、2022年1月29日に訪問医療部会において有志の会員の皆様と話し合う機会を持ちました。出席者全員が想定をはるかに上回る事態であったと認識しており、話し合いの中では防災体制の再点検も含めた更なる危機対応の必要性を確認し合うとともに、コロナ禍での顔の見える連携のしにくさや社会的孤立の更なる悪化など現在の社会的課題についても共有しました。

地域でのメンタルヘルス支援、またアウトリーチでの活動はなくてはならないものだと私たちは確信しています。アウトリーチネットでは、利用される方と訪問する側との双方が安心安全に支援を開始し継続できる工夫、そして支援を支えるシステム作りについても、検討を重ねていく所存です。今後とも皆様と対話を重ねていきたいと思っております。今後の対話の機会については、またホームページ等でお知らせをさせていただきます。

最後になりますが、この事件により、メンタルヘルスの支援を必要とされておられる方や私たち支援者への誤解が拡がらないようご配慮をお願い致します。必要な方に必要な支援が届くよう、引き続き皆様のご理解、応援をいただけると幸いです。

一般社団法人コミュニティ・メンタルヘルス・アウトリーチ協会
共同代表 伊藤順一郎 岡崎公彦 梁田英磨